

# けんこう静岡

第152号

令和5年  
(2023年)  
1月1日(日)

季刊 1部50円 年200円  
(送料税込)

発行所  
公益財団法人 静岡県予防医学協会  
https://www.shsa.net/  
(静岡事務所) 〒421-1292 静岡市葵区建徳1-3-43 (054)278-7716  
(藤枝健診センター) 〒426-0053 藤枝市善左衛門2-11-5 (054)636-6461  
(総合健診センター) 〒426-8638 藤枝市善左衛門2-19-8 (054)636-6460  
(沼津事務所) 〒410-0011 沼津市岡宮1210-1 (055)921-1934  
(浜松健診センター) 〒435-0006 浜松市東区下石田町951 (053)422-7800  
印刷所 松本印刷株式会社



## 新年を迎えて

公益財団法人 静岡県予防医学協会  
理事長 横田 通夫

新年あけましておめでとうございます。

皆様には、新年を清々しくお迎えのこととお慶び申し上げます。

年の始めに当たり、県・市町、医師会や学校をはじめとする関係各位のご指導とご協力のおかげで、当協会の健診検査業務が着実に進展し、微力ながら、県民の皆様の健康の保持増進にお役に立っていることに心から感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルスの感染が蔓延する中で、協会を挙げて感染対策に重点的に取り組みました。何よりも受診者や職員の安全確保のため、消毒・検温・換気等の感染防止対策の徹底に努めてまいりました。また、特定保健指導のWeb面談（遠隔面談）も一層の拡充を図りました。

併せて、コロナワクチン接種の促進のため、地元市の要請を受けて、総合健診センター、藤枝健診センター及び浜松健診センターにおいて住民への接種や、公的機関や民間事業所の職域接種等にも積極的に協力いたしました。

また、健診機器の整備におきましては、浜松健診センターでは、最新技術が搭載された胸部・腹部X線デジタル診断装置を配備した放射線新棟を建設し、藤枝健診センターでは、最新のマンモグラフィ撮影機器を導入するなど、受診者の利便性と健診検査の一層の精度・迅速性の向上を図りました。

本年も、引き続き新型コロナウイルス感染防止対策に万全を期すとともに、県内東・中・西部に跨る五つの事業所を有する総合健診（検診）機関としての特徴を活かしながら、受診者の皆様の多様なニーズにお応えするための健診事業をきめ細かく展開してまいりたいと考えております。

さて、厚生労働省によると、2021年の日本人の「平均寿命」は男性が81.47歳、女性が87.57歳となり、残念なことに、前年と比較して男性は0.09年、女性は0.14年下回りました。男女とも悪性新生物、肺炎、交通事故などの死亡率の変化が平均寿命を延ばす方向に働く一方で、新型コロナ感染症等などの死亡率の変化が平均寿命を縮める方向に働いているとのことでした。

また、「健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間」である「健康寿命」は、男性が72.68歳、女性が75.38歳です。WHOの2022年版の世界保健統計によると、日本人の「健康寿命」（2019年）は男女ともに世界一でわが国は世界に冠たる長寿国となっています。

しかし、一層快適な生活を送るためには、「平均寿命」を上回る「健康寿命」の延伸を図り、両者の年齢差を縮小することが重要です。そのために、私ども健診機関は、県民の皆様の疾病予防と健康の保持増進をサポートし、その一端を担うことが使命であると考えております。

静岡県は、健康長寿の全国上位に位置する県です。この誇るべき郷土で、今後とも、『みんなの健康を守る』の理念のもとにより質の高い健診を提供するとともに、「お客様満足」の視点に立って、安心・安全そして快適に受診していただけるよう一層のサービス向上に努め、県民の皆様により信頼される協会となるよう職員一同、誠心誠意取り組む所存です。

結びに、本年も変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、新型コロナウイルス感染の一刻も早い終息を切に願いつつ、皆様方のご健康ご多幸を祈念しまして、新春のご挨拶に代えさせていただきます。



## 令和5年 知事年頭挨拶

静岡県知事 川勝平太

明けましておめでとうございます。

皆様には、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年もコロナに始まり、コロナに終わるという事態が続きました。感染拡大防止に向けて、県民の皆様の御協力、医療従事者の方々の御努力に深く感謝申し上げます。また、台風15号に伴う記録的な大雨により被害に遭われた皆様にお見舞い申し上げます。

今年は、富士山世界遺産登録10周年を迎えるとともに、全国の自治体の中から本県が「東アジア文化都市」に選定され、様々な文化芸術事業を実施します。日本の文化の中心、いわば「文化首都」として1年にわたり、「多彩な文化が花開く“オープンガーデンシアター”」というコンセプトのもと、日本の宝である富士山を中心に、日本文化の様々な魅力を国内外に発信していきます。

新たな総合計画では、基本理念である富国・有徳の「美しい“ふじのくに”」づくりの柱に「静岡県をSDGsのモデル県に」を掲げています。安心して生活ができる日本は世界から見ればSDGsの達成に向けた模範となる国であり、世界から賞賛される人材、地域資源を持つ本県は間違いなくモデル県といえます。2050年のカーボンニュートラルの実現に向けて、先端技術や新たな仕組みを積極的に取り込み、エネルギーの多様化を推進し、企業の脱炭素経営への転換を支援してまいります。

人材育成については、今春、県内初の夜間中学「県立ふじのくに中学校」が開校します。年齢も性別も国籍も関係なく、学びたいと思う誰もが十分に学べる場を提供し、一人一人が学ぶ喜びを実感できる学校づくりを進めていきます。また、静岡社会健康医学大学院大学に博士課程を設置し、医療・保健・福祉の向上に貢献できるプロフェッショナル人材を育成してまいります。

豊かな暮らしの実現に必要なもの（モノ）の一つは、食べ物です。山梨・長野・新潟の3県との連携による「パイ・山の洲」の推進により、新たな広域経済圏を形成し、「生産」と「消費」の好循環を創出してまいります。

コロナ禍によりデジタルの可能性が一気に高まり、働き方や暮らし方の多様化が進んでいます。交通インフラとデジタル化が整うことで、すべての人々の不便が解消できるオープンパブリックガーデンを目指してまいります。

防災については、県民の皆様の生命や財産を守るため、南海トラフ巨大地震による犠牲者の最小化や流域治水によるハード・ソフトの両面で県土強靱化に取り組むとともに、国や市町、防災関係機関との連携体制の更なる強化を図ってまいります。

本年は、本県が日本の文化の顔として、文字通り世界の檜舞台に立つ門出となる年です。皆様方が主役です。誰一人代わりになる人はいない、かけがえのない存在です。一緒に素晴らしい日本の理想郷「ふじのくに」を創ってまいりましょう。

結びに、今年一年の皆様のお健勝と御多幸を心からお祈り申し上げます、年頭の御挨拶といたします。

## 年一回は健康チェックを！

健康はあなたの財産です  
すこやかな明日のために

人間ドック  
脳ドック ものわすれドック

総合健診センター ヘルサポート  
〒426-8638 藤枝市善左衛門2-19-8  
TEL 054-636-6460  
FAX 054-636-6465  
☎ 0120-39-6460